日韓市民ネットワーク・なごや

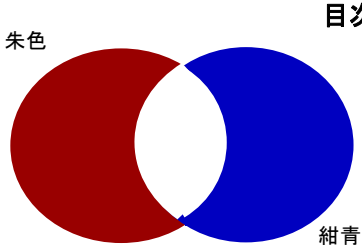
会報 No.29
2005-4-30

일한 시민 네트워크・나고야

Home Page：http://www.nikkannet.jp/

発 行 者 ： 後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL／FAX 0587－56－6788

目次



1．巻頭特別寄稿 ―――― 横内 恭さん
2．事務局通信 ―――― 統括幹事：後藤和晃
3．ニュース ―――― 事務局
4．会の活動報告とお知らせ ―――― 事務局
5．紀行参加者の声 ―――― 参加者の皆さん
6．会員の広場 ―――― 会員の皆さん
7．ソウル便り ―――― 二日市 壮さん

巻頭特別寄稿

◎ 愛・地球博で日韓交流を思う ―――― 横内 恭さん（中日新聞相談役）

「愛・地球博」はいま大勢の観客で連日賑わっている。百二十ヶ国と四国際機関が参加し、今世紀最初の万博として世界から注目されているが、私も開幕直前と直後の二日間、あちこちのパビリオンを見学してきた。その中でも印象に残っている一つが、韓国パビリオンだった。さして大きなものではないが、その展示テーマに注目したのである。それは「生命の光」と称して青、赤、黄、黒、白の五色の光のなかに、韓国の人々が持つ伝統的な自然観や文化像をかいま見せてくれたのである。

青は水で、ウォータースクリーンに魚が泳いでいる。赤は情熱、太陽。黄色は土で陶磁器など。黒は炭と墨。水墨の映像が体験できる。白は韓紙の美白。こうした五色をシンボリックに展示し演出しており、韓国の文化的背景と優れた先端技術に目を奪われたのである。

いうまでもなく韓国との関係は、二千年を超える歴史の中で、さまざまな印影をもって形づくられてきた。不幸な歴史もあった。しかし、世界二百十五ヶ国余の中で最も身近な隣人であることには間違いない。上下のない兄弟といってもよい。この事実を忘れてはならない。

さて、ここ数年、日韓市民ネットワークの皆さんと懇意にさせていただいている。この集まりは、統括幹事の後藤和晃さんらのたいへんな熱意とご努力で、日韓の若い人たちの交流が積み重ねられてきた。今年の正月も名古屋韓国学校で留学生を励ます新春パーティがあり、私も参加させていただいた。ここでも学生たちが心を割って話し合い、交友と友情を育んでいることに感動した。

日韓の間には最近、政治的緊張が生じているが、こういうときこそ原点に戻って、草の根の交わりの大切さを説いて行きたい。お互いを思いやる姿勢を、これまで以上に築いて行かなければならない。愛・地球博に見た「生命の光」がお互いの光となるよう、小さくてもよい、一つ一つ積み重ねて行くことが大切である。

愛・地球博

5月11日（水）は 韓国デー

◇ 事務局通信

（１）ソウル市民の眼差しは穏やかだった！
～独島（日本名、竹島）報道のさなかで～

４月半ば、ソウルを訪問して来ました。周知のように韓国のマスコミは、独島問題や中国での“反日”暴動のニュースを、大々的に報道しています。

4 月 16 日（土）朝７時のＫＢＳ２のニュースでも、独島と中国の“反日”の動きだけで、なんと 25 分間を費やす「過熱」とも思える報道ぶりでした。こうしたニュース編成の背景には、韓国政府やマスコミが、ことし 2005 年はかつての李氏朝鮮王朝が日本によって外交権を奪いとられた乙未条約の締結から 100 という節目の年にあたることを、強く意識していることがあるのでしょう。

その節目の年に、韓国がすでに実効支配していた独島を、日本の地方議会が「竹島は日本の領土！」と議決し宣言したことから、しばらく下火だった反日の動きに一気に火がついたように見えます。

しかしです、反日感情を露わにしているのは、ホンの一部の人と思えました。街を歩く人々の表情は穏やかで、日本人たちの日本語での会話に、眉をひそめるような反応も見られません。地下鉄の中では若者が笑顔で席を譲ってもくれました。大学生の溜まり場となっている居酒屋に入り、大声で日本語を話していてもほとんど気にしている気配はありません。たまたま対話したある青年は「独島問題で、日の丸を焼くなど過激なデモをしているのは、一部の特定の人たちです。一般の人は、あんなことはしません！」と言い切っていました。

短い滞在中の体験で、全体を推し量るのは難しい事ではあります。しかし、私自身は、今回の竹島（独島）問題について、韓国の市民は成り行きを注目しているものの、民間交流の絆を断つことなど全く考えていないように思いました。

そして 4 月 16 日（土）の夜、私とＫＢＳラジオのキャスター二日市さん夫妻は、韓国の友人たち５人とこの上なく楽しく充実した対話の一ときを持つことができたのです。皆が集った居酒屋は、1919 年の 3 月 1 日に勃発した、３・１独立運動の起点となったタプコル公園の近く、その名もウリナラ・マンセ（我が国・万歳）という店でした。

男性２人のうち、韓日親善交流会長の徐彰教さんは、大邱からＫＴＸで、また光州ＹＭＣＡの副理事長で弁護士の姜幸玉さんは、飛行機でそれぞれ駆けつけていただきました。女性も３人の方が参加されました。僧舞の（スンム）の名手とうたわれる中央大学の教授の李周熙さんとかつて名古屋大学に留学し、現在ソウルの日本航空で働いている金延姫さん、彼女の友人の朴芝妍さんたちです。

５名の皆さんも、独島問題は対応を誤ると、両国民の感情的対立を招きかねない危険性を持っていると指摘していました。その上で、口々に「今年が乙未条約から 100 年、光復から 60 年という韓国人にとって敏感な年であることを理解しておいてもらえば、日本の人たちとの交流の絆が断たれることなど、あり得ないですよ！」と語っていました。

日韓の間に緊張感が横溢（おういつ）しているさなか、ソウルでこのような出会いが持てた事は、７年間、ひたすら市民交流を貫いてきた結果といえるのでしょう。８年目の春に味わった小さな喜びでした。

（２）交流紀行にご参加を！　　～“ハガキ”アンケート調査～

私たちの会では毎年、総会で年間行事を決め、様々の日韓交流や会員同志の交流を行っていま

す。ことしも去る 3 月 27 日の総会で、別項に記載した通り多彩な行事を決定しました。ここでは、韓国学校での交流会など、周知の行事ではない交流事業をご紹介しますので、同封する葉書のアンケートに、参加の有無をお答えいただくようお願いします。

行事はいずれも大小の車を使うため、人数制限があります。参加できるのは原則、会員とし余裕がある場合は、会員以外の方でも受け入れます。参加費は原則実費ですが、留学生を安くする分、日本側の参加費が若干多くなることをご了承下さい（海外に行く場合は留学生はいませんので、全面的に実費のみです。ただしこの会の韓国への旅行は、行く先々で現地の人々と交流し、招待する人々の食費は当方で負担することを原則としています)。

<u>主な交流紀行</u>

① 5 月 14 日（土） 留学生の日帰り奈良紀行

※留学生を主としますので、一般会員の募集はありません。

② 7 月中 留学生と歩く家康の故郷 ～岡崎紀行～

内容～江戸幕府を開いた家康は、朝鮮王朝との友好を実現した人物です。その家康の故郷、岡崎で岡崎城や徳川家の菩提寺である大樹寺などを廻り、家康の人柄を偲びます。
また八丁みそで知られる味噌蔵などの見学もします。

募集要項
- 募集人数 留学生・会員あわせて 20 人
- 参加費 留学生 1000 円 会員 3000 円 ・各自弁当持参

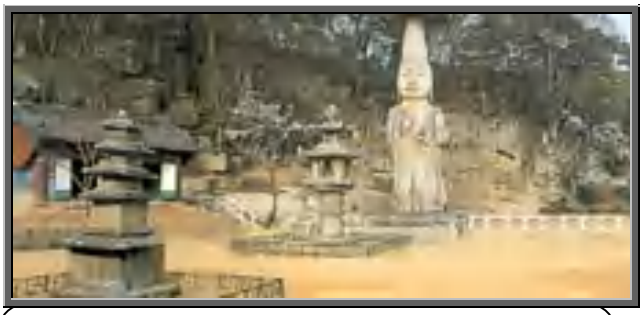
③ 8 月日付未定 留学生の裏木曽一泊キャンプ

※留学生中心なので、一般会員の募集はありません。

④10 月 14 日（金）～17 日（月） 韓(から)の国“仏が来た道”紀行 ～韓国、霊光、扶余、ソウル～

内容ー日本に仏教を伝えたのは、百済でした。AD384 年、インド僧マラナンダが中国を経て韓半島南部の霊光に上陸し、百済の人々に初めて仏の道を伝えます。マラナンダが上陸した霊光の海岸をスタート地点として、仏甲寺や修徳寺、壮大な仏教遺跡である弥勒寺跡、善信尼など飛鳥の３尼僧が留学した扶余の寺々、そして現代の寺ソウルの曹渓寺等々、百済仏教の残影を求めての旅です。各地で現地の人々とも交流する予定です。

なお案内は韓国ＫＢＳラジオの歴史紀行番組の解説者、武井一さん日比谷高校教師）が担当します。



募集要項
- 募集人数 15～20 人
- 参加費 未定ですが 10 万円以内と予想しています。

⑤2006 年 3 月 11 日(土)～12 日(日)金沢・歴史人物紀行 ～尹奉吉と金如鉄への旅～

内容ー**尹奉吉**（ユン・ボンギル）は 1932 年の 4 月 29 日、中国、上海の虹口公園で駐留日本軍が行っていた天長節（天皇誕生日）の式典会場に爆弾を投じ、白川司令官を爆殺、重光葵公使ほか多数を負傷させた人物です。当時 23 才、祖国解放、独立運動の一環としての行為でした。現場で捕らえられた彼は、軍法会議で死刑を宣告され、第九師団のある金沢に送られ、12 月 19 日郊外の丘で銃殺されました。韓国では伊藤博文を射殺した安重根と並ぶ義士として遇されている。彼の生き様を金

沢・野田山墓地（前田一族や藩士の墓も全てここにある）に偲びます。

金如鉄（キム・ヨチョル）は文禄、慶長の役当時７才。漢城（今のソウル）で父が戦死、孤児にとなっていたのを宇喜多秀家が哀れんで岡山に連れ帰った少年です。秀家の妻が前田利家の四女豪姫で、彼女によって愛育される。豪姫は金沢への里帰りの時、金少年を伴い、以後この少年の育成を母で、かの有名なおまつの方に頼んだようです。金少年は長じて加賀藩の大小組頭や、馬廻組頭など努めた脇田家の婿養子となり、脇田直賢（わきたなおたか）を名乗りました。

今も残る旧脇田家庭園を見学、金如鉄を偲ぶと共に、金沢城や野田山墓地で金少年を愛した豪姫やおまつ様にも思いを馳せます。

募集要項
- 募集人数　15～20 人
- 参加費　　未定ですが 10 万円以内と予想しています。

뉴스 ニュース人

このページは、新聞や雑誌あるいはホームページなど、当会に関係があるニュースを掲載しています。皆さんが、お気付きになったニュースがあればお知らせください。

○ JsoulV7

会員の皆様へ

最近高電社(http://www.kodensha.jp/)の新しくアップグレイドされた韓日翻訳ソフトが発売されました。以前から JSOUL2001 を使っていましたが今回新たに導入しました。JsoulV7 として発売されています。価格は３９９００円ですが以前からの使用者にはサービスとして安価に提供されているようです。利用価値は計り知れないほどあります。

このいきさつは４月の５日に韓国から済州大学の趙文富先生、高電社の高基秀社長さん方が名古屋に来られて１５人ばかりで日韓市民ネットワークの方達と魚市場で会食をした折にこのソフトの話が出ました。図らずも親切な善意に絆されて高会長さんから高価なこのソフトを小生に無料で贈呈して頂きました。寛大な取り計らいに何とお礼を申したらいいのやら迷いました。それで之を契機に便利で高性能のソフトを会員の皆様に披露宣伝させて頂きます。機会がありますに詳しい機能をお知らせしましょう。韓日交流の輪が一層深まることを念願しています。

（会員　長澤　進）

j・Seoul V7
　標準価格 39,900 円（税抜価格　38,000 円）

j・Seoul V7 アカデミック
　標準価格 26,250 円（税抜価格　25,000 円）

j・Seoul V7＋韓国語 OCR
　標準価格 47,250 円（税抜価格　45,000 円）

j・Seoul V7＋韓国語 OCR アカデミック
　標準価格 31,500 円（税抜価格　30,000 円）

○　会員で韓国の人間国宝　全龍福さんの講演決定！
～第３回「韓日歴史・文化フォーラム～

会員の１人で盛岡市在住の漆・螺鈿工芸家の全龍福さんが７月に名古屋で講演を行います。１人でも多くの会員に講演を聞いてほしいと思います。下に掲載する韓日歴史文化フォー ラムの事務局からの案内をよく読み、担当の丁光栄氏あて FAX で、名前、住所、電話番号を記して申し込んでください。 なを、講演終了後には、柳橋市場脇の居酒屋「さかな市場」で全龍福さんの一家を囲んで歓迎交流会も開くつもりです。

（参加希望の方は、あらかじめ事務局・後藤氏 0587-56-6788 まで FAX で申し込んでください）

第３回「韓日歴史・文化フォーラム」

日時　2005 年 7 月 27 日（水）午後 6 時

場所　在日本大韓民国民団　愛知県地方本部　５Ｆ

会費　５００円

《講師》

全龍福（チョン・ヨンボク）氏
漆・螺鈿工芸家
盛岡市・岩山漆芸美術館長代理

《プロフィール》

1952 年　朝鮮戦争の硝煙の匂い消えやらぬ
釜山で生まれ、少年の頃より家計を荷う

1980 年　釜山で漆芸研究所を設立

1986年　現代美術大賞展　大賞受賞（ソウル）

1988年　東京・雅叙園の漆工芸品 5000 点の修復と新作品の創造を以後 3 年がかりで韓国の職人たちと共に達成

2000年　金大中大統領から「現代の韓国を代表する最高の知性」と賞賛され、「新

韓国の力・和の技で掴んだ漆・螺鈿工芸の極致

～韓国と日本とは永遠の同伴者でありたい～

知識人」に認定、勲章を受ける

現　在　盛岡に住みつつ、韓国、日本、ニュージーランドで漆工芸を教えている。「全さんの話を聞くと元気が出る！」と岩手県の知事、市長、県民の信頼は厚い。

漆は英語でジャパンという。縄文の昔から漆の技は日本が世界に先駆けて開発し守ってきたからだ。その日本の「漆の美の殿堂」と称えられてきたのが東京雅叙園だ。園が所有する 5000 点もの文化財クラスの漆･螺鈿工芸作品が風化の危機にあった 1980 年代、日本人工芸家の全てが尻込みする中、「では私が･・・」と名乗り出て、不可能といわれた仕事をみごと 3 年かけて達成したのが全龍福氏だった。全龍福氏の漆にかけた半生と韓国人と日本人は永遠の同伴者でありたいという熱い思いを聞く。

※　出欠のお返事は７月２０日（水）までに下記へＦＡＸにてお知らせ下さい。

（問い合わせ）

韓日歴史･文化フォーラム事務局　丁光栄（チョングァンヨン）･キムキョンジ

TEL　０５２－４５２－６４３１　　Fax ０５２－４５２－１７１６

◇ 会の活動報告とお知らせ

1.報告

１）2005 年度総会

3 月 27 日（日）に 2005 年度の総会が名古屋韓国学校で行なわれました。以前からお知らせしていますメールマガジンも正式に会の活動としてスタートすることが決まりました。既に第 5 号まで発行されております。年に 4 回を基本としている会報よりも最新情報がリアルタイムでお知らせできます。その他、2004 年度の会計報告・2004 年の活動報告・2005 年度の活動計画・2005 年の体制・新入会員の紹介などが行なわれました。

韓国ソウル市から KBS ラジオキャスターの二日市氏の講演会、その後会場を移動して親睦会が行なわれました。詳しくは下記ページから表を取り入れて報告いたします。何か疑問・質問がありましたら事務局の方までご連絡下さい。

A) 2005 年度組織表

顧	代表顧問	石原俊洋

	顧問	尹　大辰
	顧問	李　尚勲
幹事団	統括幹事	後藤和晃
	幹事	中川修介
	幹事	宮本昌子
	幹事	野村　哲
事務局	事務局長	後藤和晃
	事務局次長	中川修介
	事務局次長	東　道生
	事務局次長	太田雅隆
	事務局	武田章敬
	事務局(広報)	早川 潤
	企画主事	宮崎淳次郎
	事業主幹	加藤恵志
	会計主幹	伊藤みつ子

監査	会計監査	成瀬一男

交流リーダー	徐　教彰	大邱	韓日親善交流会長
	二日市壮	ソウル	KBS ラジオキャスター
	柳　美枝	大田	韓南大学講師
	野村　哲	上海	在上海会員リーダー
	武井　一	東京	教員・韓国全般
	宮崎淳次郎	名古屋	仏像仏教建築
	宮本昌子	名古屋	日本語教育
	加藤恵志	名古屋	韓国旅行
	加藤　勝	名古屋	子供囲碁交流
	伊藤義郎	津島	古代歴史紀行
	土岐良文	名古屋	古代歴史紀行
	三尾和廣	土岐	森で遊ぶ実践
	土本美恵子		
	成瀬一男	岡崎	岡崎紹介
	田澤　満	大治	海外旅行達人
	早川 潤	知立	わいわいクラブ
	後藤和晃	江南	交流アドバイザー
	田口良浩	名古屋	ハイキング

せわやきグループ	鈴木一宇	堀　芳樹
	増田一男	山田あき子
	金　勍台	イ・スンフン
	鈴木奈津子	山田雅樹
	大石好彦	

B) 2005 年度　活動計画

月	日	行事	参加予定数	担当者	備考
4月	1 (金)	メールマガジン 【東海地方日韓ニュース】 一般向け配信開始		東	会員には無料、一般向けには有料で配信
	7 (木)	※第二回 韓･日歴史文化フォーラム		(民団)	亀島　韓国人会館 18：00から
	未定	会報29号印刷	8名	早川 / 他	
5月	11 (水)	※万博･ナショナルデー韓国		各自 自由参加	日本国際博覧会EXPOドーム 翌12日午後キャッスルで交流会あり
	14 (土)	留学生の日帰り奈良紀行 〜 日帰り〜_	留学生ら24名	後藤 / 宮崎	留学生20人 日本側4人
	18 (水)	※第１回豊山町「韓国理解講座」 韓国と日本_その歴史的係わり	15_20名	後藤	5〜9月までの総5回を日韓市民ネットワーク･なごやがコーディネートいたします。
6月	8 (水)	※第２回豊山町「韓国理解講座」 ダイナミック韓国_経済_	15_20名	李尚勲	講師…1997年名古屋国際センター民間大使

	未定	会報30号発行	8名	早川 / 他	
	13 (水)	※第3回豊山町「韓国理解講座」 魅力の韓国映画と音楽	15_20名	(李相美)	講師…シネマスコーレ勤務の映画評論家
7月	未定	留学生と歩く家康の故郷 〜岡崎紀行〜	20名	成瀬 / 松村 留学生会 ペ会長	一般参加者も入れて
	27 (水)	※第三回 韓日歴史・文化フォーラム 〜講演者 全龍福氏(会員 盛岡市)〜			亀島 韓国人会館5階 18：00から 講演会終了後、会員一同で盛大に歓迎会を！
8月	5 (金)	※第4回豊山町「韓国理解講座」 食の国・韓国を知る	15_20名	(柳舟葉)	講師…春日井の韓国語教室講師
	未定	留学生の裏木曽一泊キャンプ	15名	三尾 / 土本 後藤 / 中川 宮崎	留学生と日本側の混成チームで留学生会会長ペ・ジュンホ君
9月	14 (水)	※第5回豊山町「韓国理解講座」 韓国の若者たちはいま	15_20名	イ･スンフン 他	講師…前留学生会会長
10月	14 (金) 〜 17 (月)	韓の国“仏が来た道”紀行 全羅道・忠清道・ソウル 〜百済仏教の聖地巡礼〜	20名	後藤 / 武井 宮崎	武井講師の都合で日程の変更がありえます 日本に仏教を伝えた百済仏教史の現場を歩く！
	未定	会報31号発行	8名	早川 / 他	
	未定	名古屋国際センター事業 国際協力フェスティバルに出展		堀 / 鈴木	名古屋国際センターで毎年行われている行事で、本年の開催日は未定です。
11月	未定	講演会 （内容検討中）		後藤	

月	日	行事	参加予定数	担当者	備考
12月	18 (日)	「日韓友情年記念」 留学生を励ます日韓市民交流会	60_70名	中川 / 宮崎 成功 / 後藤 宮本 / 他	韓国の各種団体と協力できるか？
06年1月	未定	会報32号の発行	8名	早川 / 他	
2月	未定	留学生幹部送別会		中川	
	未定	日韓学生・交流の旅V 〜光州・ソウル他〜	15_20名	後藤	日韓文化交流基金の補助があれば実施

3月	11 (土) 〜 12 (日)	金沢・歴史人物紀行 〜尹奉吉と金如鉄への旅〜 〜金沢市・野田山〜	15_20名	後藤 / 成功	日本市民と留学生の混成チームで… 1泊2日
	26 (日)	第９回総会		後藤	韓国学校を会場の予定 14：30から

C) 2004 年度活動報告

月	日	行事	参加人数	担当者
４月	４(日)	わいわいクラブ・京都花紀行 留学生と_嵐山・金閣寺・清水寺_	８名	高橋
	24 日(土)	会報 25 号印刷	７名	早川
５月	２(日)	岡崎・家康の故郷紀行 _ 日帰り _	留学生ら 14 名	成瀬・松村 小田
	14(金)	留学生 日帰り奈良紀行	留学生ら 65 名	太田
６月	26 日(土)	会報 26 号印刷	８名	早川
７月	２(金) 〜 ３(土)	明日香に見る “百済の幻影”紀行 考古学者猪熊さんと共に	20 名	後藤・伊藤・吉川 土岐・宮崎
８月	５(木) 〜 ９(月)	交流の夏 光州学生訪問団受け入れ ・奈良一泊旅行 ・ホームスティ受け入れ ・交流の夕べ	受け入れ 学生 13 名 付添 3 名 80 名	後藤・中川 宮崎・加藤 宮本・他
	14(土) 〜 15(日)	わいわいクラブ 犬山市八曽・留学生１泊キャンプ	20 名	イ・スンフン 中川
10 月	２日(土)	会報 27 号発行	７名	早川
	31 日(日)	名古屋国際センター事業 国際協力フェスティバルに出展	来場者数 350 名	堀・鈴木 イ・スンフン
11 月	６日(土) 〜 ７日(日)	留学生“裏木曽の秋”を遊ぶ	18 名	三尾・土本
	月間	留学生ホームスティウェーブ	６名	宮本
	月間	留学生の徳川美術館見学 _源氏物語展など_	10 名	
12 月	３日(金) 〜 ５日(日)	黒潮の“三多島” なつかしの済州島紀行	18 名	後藤・宮崎
2005 年 1 月	16 日(日)	留学生を励ます 日韓“学生・市民”新春交流の夕べ _於・名古屋韓国学校_	107 名	中川・宮本 加藤
２月	12 日(土)	会報 28 号印刷	７名	早川

	19 日(土)	留学生送別会 ※副会長洪有美さんら	8 名	後藤
3 月	2 日(水)	“山の辺の道”歴史・万葉紀行	28 名	伊藤(義)・土岐 ぺ会長
	27 日(日)	2005 年度総会 名古屋韓国学校において 講演・KBS ﾗｼﾞｵｷｬｽﾀｰ二日市壮氏	38 名	後藤・中川 宮本・他

2）韓国で故水崎林太郎翁の追慕祭は中止となりました。

会報 28 号のニュースの欄でお知らせしました韓国大邱市の「故水崎林太郎翁の追慕祭」ですが今年は竹島問題などもあり、日韓関係が非常にデリケートな時でしたので中止となりました。

2.お知らせ

1）ホームページの交流館、新たに画像も投稿できるようになりました

既にご存じの方も多いと思いますが、当会のホームページの交流館（日本語）の方に写真も投稿できうるようになりました。現在も数名の方が画像付きで投稿しています。皆さん有効に活用してください。

2）堀尾和義さん逝く

去る 4 月 22 日（金）に名古屋市にお住まいの会員の堀尾和義さんがお亡くなりになりました。葬儀はすでに 24 日（日）に藤が丘の愛昇殿で事務局ら数名も参加してしめやかに行なわれました。慎んでご冥福をお祈りします。

3）新会員紹介

前回の会報編集以降に入会された方で、4 月 20 日までに受付完了されている方々です。(敬称略)

会員

夏目玲子	朝倉恭子	神谷良子	金岡えつ子
崔　勝人	岩下洋子	窪田みどり	

特別会員

ペ・ジュンホ 裵埈晧	ホン・ユミ 洪有美	キム・ヒョンジン 金 炯 鎮	コウ・ミンジョン 高　　呈

「黒潮の三多島　懐かしの済州島」紀行 ――― 参加者の感想文

○ 振り上げたオノはむなしく ―――――――――――――――――――― 会員：田口良浩

＜蟷螂(とうろう)の斧(おの)＞という言葉があります。蟷螂は昆虫のカマキリのこと。カマキリが斧・鎌のような前肢(ぜんし)（前足）を振り上げて、他の虫をおどしつける姿をよく見かけます。時には自分より大きな相手（それが人であったり車であったり）にも立ち向かうので、たいして力のない者が強大なものに無謀にも刃向かうことを＜蟷螂の斧＞と言うのです。

太平洋戦争の末期、済州島南東の平野部に突貫工事で滑走路を造り、その周辺に特攻機一機づつを隠す格納庫を数多く築きました。また近くの海岸の断崖には、特攻機を隠す洞窟がいくつもあけられました。

この特攻基地は終戦で使用されることはありませんでした。部厚いコンクリートで固められた格納庫は、取り壊されるなく今に残され、屋根は草むしています。海岸の断崖にあけられた洞窟は、うつろな姿をさらしています。

戦争末期の日本軍のあがきを伝えるこれらの遺跡を訪れて、私はふと＜蟷螂の斧＞という言葉を思い出してしまいました。

“冬ソナ”ブームもあって済州島を訪れる日本人観光客が多くなっています。風光明媚なこの島の観光ももちろん悪くはありませんが、強大なものに無謀にも刃向かったカマキリにも似た日本軍の愚行の“証（あかし）”の地にも、ぜひ足を向けてほしいとつくづく思った旅でした。

「山の辺の道」歴史・万葉紀行 ―――――――――― 参加者の感想文

○「山の辺の道」歴史・万葉紀行に参加して ―――――――――― 会員：鈴木　一宇

３月２日、天候にめぐまれ、総勢２８名は名古屋からバスで桜井の地に向かいました。古代の歴史に関心が薄く、名高いこの地をいまだに訪れたことがなかった私は今回の旅が楽しみでした。

バス中での伊藤さん、土岐さんの万葉、古墳に関しての、詳細な資料によるガイダンスは有益でした。下見の旅までされたというお二人の周到な準備には敬意を表します。

仏教伝来の碑から始まり、大神神社を経て石上神宮にいたるまでの行程の要所要所で、お二人の懇切な説明を聞きながらの逍遥は贅沢なものでした。万葉歌碑が会津八一をはじめとする多くの著名な方による揮毫であることも今回はじめて知りました。うららかな春の日、会員、留学生のかたとの歩きながらの語らいは楽しいものでした。

ただ私にとっては、今回の旅は古社寺、古墳、万葉歌碑とみるものあまりに多く、充分堪能できませんでしたが、この地への興味がより深まり、この旅を企画運営された皆様に感謝しております。

また参加された二人の留学生、ぺさん並びにキムさんには、今回の旅がどのように映ったのでしょうか。

회원 마당
会員の広場

○「望郷の大田（テジョン）再訪」―― 会員：辻　醇（昭和 13 年、大田生れ－江南市在住）

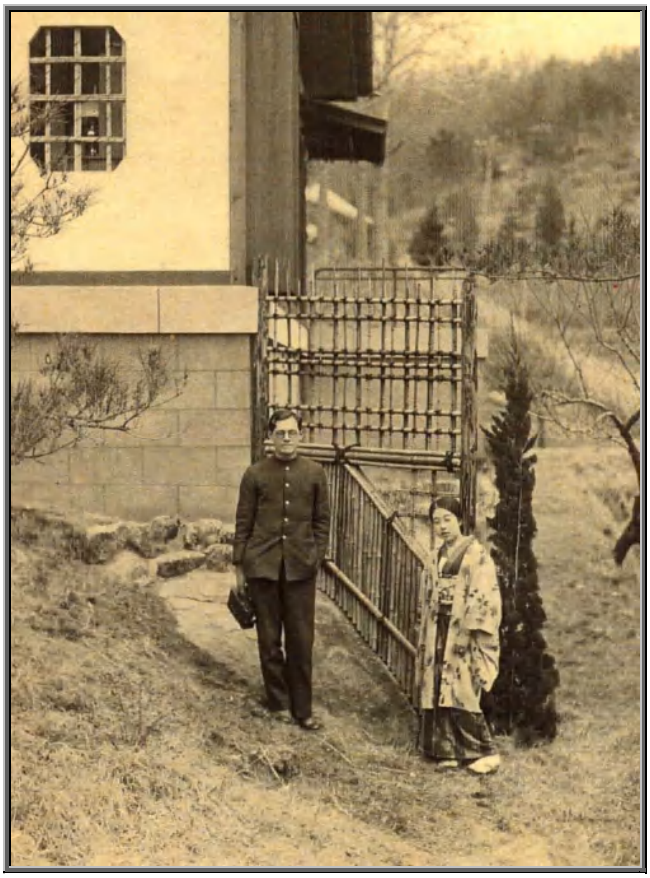
故郷の韓（から）に黄砂の春霞　　春かすむ　花一斉の　韓の郷

4 月 20 日から４日間、墓参りのため韓国に行ってきました。一つには亡き父母の遺骨を散骨した大田・宝文山に参るため、今一つは、この１月３０日に亡くなられた韓国の友、李建栄さんの天安の墓に参るためでした。

4 年ぶりの韓国の発展は目覚しく、町並みも美しく整備されて来ていました。いつもながら韓国の人々のパワー、エネルギーは驚くばかりでした。

芽吹く韓や　多様、多彩の　みどりかな
韓人の　陽気　浮かれや　花の宴

散骨の辺(あたり)へ 急坂登る 老ひし身や
　　祖母と携ふは　六十余年前
遺憾なり　過去に和名の　韓の友よ
　　友好の虹橋　天上に　架けませ



（事務局・注）

辻　醇さんの祖父　勤之助さんは 1900 年に大田に入った大田開拓の草分けの１人。その後生まれた万太郎さん（醇さんの父）と共に醸造業を大きく営み、大田経済を中心で支えた功労者でした。

勤之助さんご夫妻の墓があったのが、大田市をみおろす宝文山です。醇さんの父　万太郎さんは、敗戦で帰国した後、２０年ほど前に世を去りますが、生前、自分の遺骨は宝文山に散骨するよう遺言していました。そのため醇さんは１６年前に両親の遺骨を宝文山に散骨し、いらい数年おきに墓参りをされています。

○ 「遥か遠い広島の地から」―――――――――――――――――――― 会員：井上　辰郎

会員の皆様、日々のご活躍ご苦労様です。44 年間お世話になった「愛知･ 名古屋」の地を離れてから、早いもので 3 年が経とうとしています。

本年は予てからのビッグ･ プロジェクトであった国際空港セントレアの開港、そして 21 世紀最初の万博も開場し、日本では屈指の活力のある錦地に改めて想いを馳せると共に、心からお慶び申し上げます。

さて、今回は私のささやかな近況をご紹介したいと存じます。嘗ての上司が、広島は上海より遠いと手紙に書いて寄越しましたが、現在住んでいる所は広島県のほぼ中央に位置し、気候はどちらかと言うと、山陰地方の影響を受け、そして周囲を流れる河川の行き先は全て日本海

です。そんな所で、老骨に鞭打ち、今 3 つの活動に取組んでいます。

その一つは年相応の「老人会」世話役、一つは都会生活を送っている人には理解出来ないでしょうが、社会的にも、風土上も誠に厳しい農業環境を少しでも打開する為の集落単位法人化、もう一つが「韓国文化」の紹介です。

地域内に「人材バンク」なる組織があり、その趣味欄に「太平洋戦史の研究、韓国歌謡研究」と記入した所、事務局の人の目に止り、何か話をしてくれという依頼がありました。根がおっちょこちょいな性格が禍し、それに折からの「韓流ブーム」もあって、「韓国歌謡とそれを育てた文化」をテーマに、ツールにはパワー･ポイントと溜め込んである KBS、MBC のビデオを使い、約 2 時間のお話を、昨年 12 月初演?を切欠に、本年 3 月 2 回、4 月 2 回と回を重ねています。話のネタは、手元にある約 50 冊の書籍、日韓ネットワーク時代の諸講師の講演記録、それに 5 年間の対韓国貿易時代の体験を取混ぜた構成ですが、聴講者の感想は、「お蔭で韓国の事が良く理解出来た」と言う事でした。将に今でも「近くて遠い国」なんだという実感です。かく言う私も 1988 年以前は全く無知でした。将にまず情報、そして次に「百聞は一見に如かず」でしょう。

話を進めていく内に、それまで漠然としていた、私の「韓国」に対する興味の原点も判って来ました。既に消え失せているかも知れない、或いは心の奥底にだけひっそり隠れていた「コヒャン」、そしてその中で醸成される人情等の、両国における共通点が、それまで眠っていた私の心を強く動かしたのだと思います。祖先の地とは言え、殆ど住んだ事が無かった現住所の自然に触れるにつけ、その想いは少しづつ拡大しています。

話は変わりますが、年中行事の如く、教科書問題、今年は特に「竹島」問題で両国関係が揺れている昨今、竹島については、韓国に「トクト　ヌン　ウリタン」という歌がある事等殆どの日本人は知らないのですが、それは兎も角こんな事で両国の人と人の和にヒビが入る事は絶対に無いと信じています。

○池田大作・趙文富（済州大前総長）両氏の対談を読んで ―――――― 会員：長澤 進
～人間と文化の虹の架け橋～

私は名古屋の守山区在住の一内科医です。両親が戦前ソウルで生を受けた因縁からか鮭が一を全うするのに生まれた川を遡上するように歳を経るにつれて韓国に対する想いが深まります。

そのようなわけで三年前、日韓市民ネットワーク・なごやに入会しました。今までの会の主催する留学生歓迎会、済州島訪問、伽耶新羅散策、奈良飛鳥の旅等を体験して、韓日の交流の体験をさせてもらいました。済州島を 20 名の会員で訪れた折、地元の考古学者、ジャーナリスト、大学総長の方々との会食の機会がありました。

偶然隣に座しておられた前済州大学の総長でもありました趙文富先生と楽しい会話のひと時をもちました。短い時間でしたが歴史・文化・風俗・習慣・教育などに亘り歓談しました。先生は親切にも 11 冊にもなる創価学会編纂の灯台の雑誌を送ってくれました。それ以来信頼関係が深まりメールのやり取りをしています。この三月に一冊の書物として出版の運びとなりました。この全章を再度興味深く読ませてもらいました。趙先生の博学多彩には至る所で感じられます。李王朝の名君世宗大王の『根の深き木は風に動かず、花かぐわしく実たわわなり、源の深き水は日照りに乾かず、川をなし海に至るなり』この詩を深く愛読されておられるそうです。桜梅桃李の真理も素晴らしい喩えです。人間の社会も自然の草木の営みと同じように、誰もが皆かけがいの無い尊い存在で、自由と幸福を求める権利があるはずだと説いています。来る言葉が美しく行く言葉も美しい。韓国のこの諺を深く認識できました。日本で言えばさしずめ鏡の法則なのです・

ハングルの特徴、社会家族の歴史的変遷、韓日の食文化の相違、人間教育と大学の使命、IT 化社会の対応、広範囲に亘りまさに韓日の虹の架け橋に相応しい充実した内容です。お互いがこんなに相手の国を思いやり理解し蓄を交わしてる態度に感激しています。昨今は韓流ブームだと言われています。元来両国は長年の歴史的経緯から世界で唯一隣国である一番親しい兄弟の関係であるべきです。戦前半世紀近くにも及ぶ日帝の屈辱を受けた事、秀吉の攻略、古代では倭の三韓侵略、何れも苦くて不快な関係を今こそ払拭して両国民が尊敬の念に根ざし、お互いの真の友情と親交を高めて行くべきです。唯一過性の現象ではなく之を契機に一層の固い絆を築く時期が到来したと確信しています。

趙先生は池田先生の如く若い時代には辛苦を舐めた偉大な教育者です。人間教育と平和を最重視されている姿勢が伺えます。巨大な躯体で何時も恵比寿様の様な微笑を抱いて逢う人にはきっと素晴らしい好感を与えます。学生を心底愛されて日本からの留学生を快く受け入れられている光景が印象的です。教育者の奥様も理解者で三人のお子様もそれぞれ立派に成長されていると聞かされています。今後先生の益々のご活躍と健康を祈願しています。

서울 통신

韓国光明市在住　二日市 壮さんのソウル便りです。
韓国 在住生活を基盤として幅広くご活躍されておられるレポートです。
今後とも期待しております。

○日韓・日中、関係修復の道 ――― 韓国光明市在住　会員　二日市　壮

・・・反日大合唱招いた日本の戦後保守政治・・・

日韓関係は、前号で展望したとおり、いやそれ以上の最悪の事態となった。中国にも飛び火し、中国では韓国を上回る反日大合唱となった。戦後日本のアジア外交が根底から問われ、国連で２番目の経費負担国なのに安保理常任理事国入りに黄信号が点った。

３月２７日、名古屋に帰って本会で講演させていただいたが、その内容も含めて、改めて韓国にいる私の視点を述べさせていただきたい。

そもそも今回の事態のきっかけは、①島根県議会による竹島の日条例制定②侵略戦争を正当化した扶桑社の教科書の検定合格によるものだった。また背景に小泉首相の靖国参拝があった。日本としては、今回、韓国や中国に対してとくに意識的な行動をとったわけではなかったが、盧武鉉大統領が先頭に立って異例に激しい日本批判を展開した。

そして自国のマスコミを通じて形成された韓国民の日本に対する受け止め方は、あらまし次のようなものである。日本は韓国の領土である独島（竹島）を盗ろうとしている。日本政府が過去の侵略を正当化する教科書を作り、子どもたち全員に教えようとしている。小泉総理自ら侵略戦争の犯罪人を祭った神社に参拝し過去の過ちを正当化している。日本は最近、右傾化しており、軍備を強化して北韓を手始めにアジア再侵略を企てている。今や安全保障上の最大の脅威は日本だといった具合だ。

私は、韓国や中国のマスコミがもっと事実報道に徹してもらいたいという意見を持っている、なかでも扶桑社の歴史教科書の前回分の採択率は０．０３９％に過ぎなかったことをぜひ伝えてもらいたいと思っている。しかしマスコミとは本来、母国民の感情に依拠しているものであり、早急な変化は望めそうにない。しかも結果的には、両国民の受け止め方は、かなり日本の本質をついているといえる。

韓国では、８１あった日本の自治体との姉妹提携を解消したり、日韓友情の年の行事を延期や中止し、両国間の人の行き来が激減した。国交断絶のことばまで出た。電車の中で大声で日本語を使うことが、はばかられる状況にもなった。私が韓国に来て１０年余、最悪の状況である。中国ではさらにエスカレートし、日本大使館・総領事館への投石、日本企業・日本製品・日本人の排斥運動にまで発展した。

まさに日本の一般の人にとっては、「日本が今回、いったい何をしたのか」と突然の事態を理解できなかったに違いない。日本での分析は、これは政権の不人気挽回をはかり、６選挙区での再選挙勝利で国会の安定をはかる作戦だ。若者や失業者の不満のはけぐちを日本に向け、経済的実力をつけてきた韓国・中国が日米同盟に傾く日本に揺さぶりをかけ、アジアの指導的地位から引きずり下ろそうとしているとかのようだ。こうした最中の４月２２日、日本では麻生国務相と国会議員８０人が靖国神社を参拝した。

まさに、これまでの友好・交流の全否定につながりかねない事態にも、小泉首相は対応することができない。それは自身や保守党が持っている体質に由来しているからだ。

では、日本は韓国、中国と手を切るか。いや、日本はこれら２国と生きていくしか道はない。私は今の事態の打開策として以下のことを提案したい。①盧武鉉大統領の一連の演説の本質を受け止め、改めての謝罪と賠償をすべきだ。とくに１９６５年の日韓基本条約では不十分だった部分を補う。それがアジア各国に広がっても止むを得ず、ドイツが戦後行ったレベルを下回らないようにすること②それを決断実行できる宰相の出現を期待する③首相・閣僚・党首脳部の靖国参拝禁止④竹島について国際的判断を求める⑤日本についての理解を求める働きかけ。以上の５点だ。

④について、韓国の人たちは「独島は韓国のものなのに」と、私を責めるだろうが、このほかに道はないことを悟ってもらいたい。⑤について、私たちの会は「日本には多様な意見がある」ことを知ってもらうために努力しており、人と人との結びつきが友好の原点であるして活動の実績をあげている。

次に、韓国 KBS 日本語放送の４月２１日「玄界灘に立つ虹」で放送した筆者の体験文をここに載せさせていただきます。

○梨花女子高校生からの花かご

戦前のソウルに名を残した日本人の兄弟、淺川伯教（のりたか）巧（たくみ）の兄弟をご存知でしょうか。兄の伯教は教師でしたが、まだ知られていなかった「朝鮮白磁」の美を発見して、これを文化評論家の柳宋悦らに紹介するとともに、兄弟でソウル（当時は京城）に「朝鮮民俗美術館」を設立します。

弟の巧は国の林業試験場に勤務して、お膳や机など韓国の木工製品の美を紹介するとともに、造林作業や造林技術の向上に努めました。巧は韓国の人たちに慕われましたが、３０代後半に殉職しました。そのあと彼の功績と人柄を称えて試験場に碑が建てられました。

淺川兄弟は山梨県の出身。先週の日曜日、この山梨県出身の人を含む日本からの友人ら９人で、ソウル郊外にある弟の巧の墓詣でに行ってきました。中浪区マンウ洞の山にある墓地はちょうど桜、ケナリ、チンダルレが満開で、下の方に漢江の流れが光っていました。

巧の墓には林業試験場の人たちが建てた彼の功績を称えることばを刻んだ碑がありました。少し枯れていましたが、大きな花かごや花束が置かれていました。花かごには、梨花女子大学の付属高校である梨花女子高校生一同の名札がありました。韓国の女子高校生たちもお参りにきてくれている、花の枯れ具合からして女子高校生たちは１０日ぐらい前にやってきた、そしてお金を出し合ってこの花かごを買い供えていったのだろうと想像しました。

この後、巧が勤めていた林業試験場、清涼里２洞にある山林庁林業研究院を訪れ、よく整備され桜が満開で日曜日に一般公開されている構内を見てまわったあと、こんどは西大門刑務所跡を訪ねました。

ここは日本統治時代、日本にはむかう韓国人を拷問にかけ処刑もする刑務所でした。私にとって、ここは４回目でしたが、何度来ても、当時の日本がいかに韓国の人たちにむごい仕打ちをしていたのかが分かる証拠の場であり、胸がしめつけられる所です。

中でも１９１９年の三一独立運動で捕らえられ、この刑務所で若い命を失った女学生、柳寛順の話は、私の友人たちにとってもショックのようで、全員しばらく無言となりました。

「そういえば、さきほどの淺川巧の墓にたむけられていた花かごは、柳寛順が通っていた梨花女学校の後輩たちからだったのだ」そのことに気がついた私たちの身体に電気のようなものが走りました。何かを教えられたのです。

韓国と日本の関係はいま大変よくない状態になっています。そうした状況を超越して、あの花かごを供えてくれた女子高校生たちのやさしく清純な心。日本人として過去への謝罪の念と感謝の気持ちが湧いた一日でした。

◇お知らせ・紹介

この欄は、会員の皆さんへ各種ニュースや１～３ヵ月先のイベントのお知らせや、その他もろもろの紹介をしていきます。会員の皆さんからの情報も待っています。

１）第２回 ちくさノリマダン＆ノルムマチサムルノリ ワークショップ in なごや

響け、大地の聲

ノルムマチ名古屋ワークショップ 10 周年・ノリパン 20 周年・日韓条約 40 周年・光復 60 周年

韓流がすさまじい勢いだ。だが私たちにはやはりサムルノリがなければおさまらない。サムルノリの原点である伝統リズムのスピードと技巧を極めた演奏に、あらためてコリアンビートの真髄を感じ取ることができるはずだ。さらにフィジカルな運動性を駆使したパンクッは伝統リズムの身体的表現を見る人にあますことなく伝えてくれるだろう。

ノリパンは今年 20 年を迎える。その半分にあたある 10 年をノルムマチ・サムルノリとともに歩んできた。10 年の長きに亘る海峡を越えた友情に思いをいたし、2003 年「祝祭の大地から」公演、2004 年「ちくさノリマダン」公演・「祝祭の大地から」ソウル公演に続いて、日本において在日コリアンと日本人が向き合ってきた民族の文化の意味を伝えるべく、「第 2 回ちくさノリマダン」公演として本公演を行う。

■とき／2005 年５月７日（土）
　昼の部　13:30 開場　14:00 開演
　夜の部　18:30 開場　19:00 開演
■ところ／千種文化小劇場（ちくさ座）
■チケット／前売：一般……￥3,000
　前売：高大専留学生……￥2,000
　前売：小中学生……￥1,000
※当日料金は￥500 増し
（満席の場合は当日券はありません）
■主催　ノリパン
■お問い合わせ　090-3956-4227／蔡（チェ）

■購入方法
１）電話予約　090- 3956- 4227／蔡（チェ）
　予約後→郵便口座に振込→
　　入金確認後チケット発送
　郵便振替：00830-4-68892　ノリパン
２）インターネット予約
　予約後→郵便口座・銀行口座に振込→
　　入金確認後チケット発送
　http://www.ne.jp/asahi/noripan/net/
３）チケットぴあ
４）プレイガイド　ピーカンファッジ／
　シネマスコーレ／
　七ツ寺演劇情報センター／
　TOKUZO／ウニタ書店

２）SANTA スペシャルライブ「伝統＋POP＝SANTA　散打が核変動しはじめた！」

■５月２９日（日）OPEN 18:00 ／ START 19:00
■名古屋・今池 TOKUZO（名古屋市千種区今池 1-6-8 ブルースタービル 2F）
■料金：前売り ￥2,800 ／ 当日 ￥3,300（＋order）
■チケット発売所：TOKUZO 店頭・電話予約・メール予約／チケットぴあ
　☆TOKUZO チケット予約：TOKUZO TEL.052-733-3709　　☆mail 予約：info@tokuzo.com
　※mail 予約は月日・出演者名・予約者氏名・予約人数・E-mail を記入してお申し込みください
■チケット発売日：４月１５日（金）　　■企画・制作：Five senses
■問い合わせ：TOKUZO TEL.052-733-3709　TOKUZO HP　http://www.tokuzo.com/
　SANTA HP http://www3.to/santa-mych

３）「日韓・韓日合同親善大会」

５月１１日に愛知万博会場で開催される韓国ナショナルデーの翌日の５月１２日（木）には、日韓・韓日両親善協会中央会においても「愛知万博を祝う・日韓友好の集い」と位置づけ、これに合わせて来日される韓国側親善協会幹部をはじめ、各界著名人多数ご参加のもと、下記の場所で「日韓・韓日合同親善大会」を開催する運びとなりました。

これは国内で開く最大規模の親善懇親パーティになるものと思われます。日韓各界の有力者・著名人とお近づきになれる絶好のチャンスかも知れません。日韓友好を願う方でしたら、どなたでもお申込み可能です。

■日　時：　２００５年５月１２日（木）　午後１２時より
■場　所：　ウェスティン・ナゴヤキャッスルホテル　２階　天守の間
　　名古屋市西区樋の口３－１９　　電話：０５２－５２１－２１２１
■主　催：　日韓親善協会中央会
■参加費：　１人＝１万円　（参加ご希望人数でお申込み下さい）

■詳細＆お申込みは三重県日韓親善協会のホームページをご参照下さい。
　　http://www.searchnavi.com/~hp/nikkan/

４)「コリア映画祭」　ージャパンプレミアあり、韓流あり、ゲストありの超豪華版!!

コリアフェスタ一番の目玉である“コリア映画祭”では、日本初公開となる話題の韓流スターが出演のプレミアム特別招待作品をはじめ、名古屋初上映の作品、日韓友情年を記念した在日コリアン監督による映画の上映、またここでしか観られない貴重な歴史的作品をレトロスペクティブ上映します。中部地区だけでなく、全国からの注目を集める全30作品からなるラインアップです。

■期間：5月11日（水）ー22日（日）　■作品ごとに料金が違います　■全席指定・各回入替制
■会場：109シネマズ名古屋　シアター７（470席）　http://109cinemas.net/nagoya/
◆上映作品

【プレミアム特別招待作品】
『力道山』、『SOME』、
『初恋のアルバムー人魚姫のいた島
（原題：人魚姫)』
『マリ物語（仮題)』、
『アリラン2003年度版』

【韓流の原点：元祖韓流スター
アン・ソンギ特集】
『下女』、『神さまこんにちは』、
『チルスとマンス』、『眠る男』、
『永遠なる帝国』

【韓流最高潮：劇場未公開新作上映】
『私の彼のロマンス』、『A Smile／微笑』
『おもしろい映画』、『Sダイアリー』、
『可能なる変化たち』

【アンコール上映：2004年傑作選】
『純愛中毒』、『オールド・ボーイ』、
『悪い男』、『春夏秋冬そして春』

【韓流の未来：短編特集上映】
『20のアイデンティティー』、
『三人三色』、
『もし、あなたならー6つの視線』

【日韓友情年記念：ジャパンーコリア特集】
『伽倻子の為に』、『潤（ユン）の街』

５)「コリア音楽祭」　ー最先端の音楽シーンを、そのままライブで実現!!

★韓国を代表するアーティストのライブを一挙にみることができるスーパー・ライブ・イベント。今後の日韓両国の音楽文化交流のうえで大きな意味あいを持ち、韓国トップアーティストをはじめ、より多くのジャンル、楽曲、パフォーマンスを幅広く日本に紹介することを一大テーマとして展開。いつライブ会場へ行っても、韓国アーティストの素晴らしいライブ・パフォーマンスを体感できます。

■期間：5月14日（土）ー15日（日)、5月21日（土）ー22日（日）
■会場：Zepp Nagoya　　■入場料：1部・2部 各5,000円（税込）別途ドリンク代がかかります。
■全席指定・各回入替制

◆ライブスケジュール

	1部　(16：00ー)	2部　(19：00ー)
5/14（土）	Baby V.O.X ／ T.O ／ イ・ヒョンソプ	Baby V.O.X ／ Roller Coster ／ キム・ボムス
5/15（日）	T.O ／ 我耳盗聴装置 ／ イ・ヒョンソプ	Roller Coster ／ 我耳盗聴装置 ／ キム・ボムス
5/21（土）	U;NEE ／ Ryu ／ T.O	U;NEE ／ Ryu ／ T.O

5/22（日）	パク・ファヨビ ／ ホンギョンミン ／ EVERY SINGLE DAY	パク・ファヨビ ／ ホンギョンミン ／ EVERY SINGLE DAY

6)「コリア闘技祭」 ～日韓交流試合開催!! リアルファイトを間近で～

日本修斗協会のバックアップのもと、日本、韓国の両国でさかんな格闘技の記念イベントを開催。日韓両国の格闘技選手による競技性を重視したリアルファイトは必見！競技内容は修斗などの総合をメインに他ジャンルも想定し、記念大会にふさわしい熱戦をくりひろげます。特に女子の総合格闘技としては初の日韓大会といえ、俄然注目が集まっています。

■開催日：5月11日（水）　　■会場：Zepp Nagoya

※補足

上記、４）～６）のコリア映画祭、コリア音楽祭、コリア闘技祭は全てコリアフェスタのイベントです。チケットやイベントの開催日時等は下記の所に問い合わせて下さい。

『コリアフェスタ』(http://www.korea-festa.jp/)、
『デ・ラ・ファンタジア』(http://www.delafantasia.jp/)
『チケットぴあ』(0570- 02- 9999)

7)「韓日友情の夕べ」

■日時：2005年5月10日（火）19:00～

■場所：名古屋ウェスティンナゴヤ
キャッスルホテル

■お問い合わせ：「2005年愛知万博」
在日韓国人後援会

TEL 03-3454-4619
FAX 03-3454-4614

8）日韓友情年記念事業　　劇団わらび座「百婆」公演

★有田焼400年の歴史に唯一名を残した女性「百婆仙」

1610年代、深海宗伝の妻である「百婆仙」は夫と共に一族900人を率いて韓半島から今の佐賀県に移り住み、陶祖・李参平がひらいた有田で多くの渡来陶工から尊敬され慕われました。1656年に96歳で亡くなり、その墓は今も報恩寺境内の「蔓了妙泰道婆之塔」に祀られています。この舞台の原作である「龍秘御天歌」は「百婆仙」をモデルとした創作です。

■日時：2005年7月5日(火)　18:30～

■料金：指定席　S席5000円
A席4500円

■会場：愛知県勤労会館

■問合：わらび座
http://www.warabi.jp/
わらび座中部事務所
o-chubu@warabi.or.jp
TEL052-936-5236
FAX052-935-3046

9) 6.15 南北共同宣言 5 周年記念集会

■日時:6 月 12 日（日）午後 4 時ー
1 部：「6.15　南北共同宣言 5 周年記念　愛知集会」
韓国から　韓相烈牧師　（統一連帯代表委員）招請決定
2 部：レセプション　大交流会

■場所: 東天紅（名古屋国際センター　26F）

■主催：NPO 法人三千里鉄道(http://www.sanzenri.gr.jp/)

■後援:「6.15 共同宣言実践のための南、北、海外共同行事　日本地域準備委員会」

編集後記
(2005/4/28)

会報 No.29 をお届けします。
最近ニュースと言えば痛ましい事件・事故が多くて残念です。利益最優先の世の中、生活は便利になっていきますが、失うモノも多い気がしています。特にこれと言った解決策もなく、今後も不安が残る状況です。
さて今回の会報は今までになく情報コーナーが満載になってしまいました。殆どが「愛・地球博」絡みです。今後もまだ企画される可能性もあると思います。会報に載らなかった分は 2005 年度の総会で正式に認証されたメールマガジンを通してお知らせできると思います。でも、これだけ集中的に各地でイベントがあると、いくら頑張っても全部は回れないのではないでしょうか。
また、天候も、急に暑くなってきました。万博や日韓関係のイベントに参加される方は体調管理も重要になりますね。

池貴己子さんのイラストは、NHK ラジオ講座 1995 年度から、韓国の古典を題材としたものです。

編集：早川　潤　〒472-0002 知立市来迎寺町木ノ根田 10-4
TEL/FAX 0566-82-5466　MAIL junhykw@pop12.odn.ne.jp